

各種出力データ フォーマットの仕様

【CADWe'll Tfas V 編】



株式会社ダイテック

平成 24 年 10 月

<Ver1.0>

CONTENTS

Chapter1 スリーブ情報出力 フォーマットの仕様

スリーブ情報出力フォーマットの仕様について	1
-----------------------------	---

Chapter1

スリーブ情報出力
フォーマットの仕様

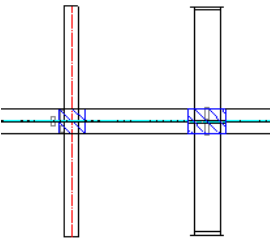
スリーブ情報出力フォーマットの仕様について

スリーブ情報の出力フォーマットの仕様について

- CSV 形式(カンマ区切りのテキストデータ)で出力します。(拡張子は「.csv」)
- データにカンマ「,」が含まれる場合は、ダブルクォーテーション「"」で囲みます。
- 上記の場合でデータにダブルクォーテーション「"」が含まれる場合は「""」で表わします。
- 1 行目は、座標原点(X, Y, Z) (※1)と階高情報(フロア数分)を 1 行に出力します。
- 2 行目以降にスリーブ情報を出力し、1 つのスリーブを 1 行で出力します。複数出力する場合は改行します。
- 各座標値は、座標原点からの相対座標とします。また、小数点以下は有効桁数分出力します。
- 高さは、絶対高さで出力します。

(※1) 座標原点とは、ファイル出力時に Tfas で指定した座標点(任意点)で、他のアプリケーションで使用する際、位置合わせの目安にするための座標です。

スリーブ情報の出力例


 [スリーブ情報]-[CSV 出力]コマンドにて、
 図面に配置されたスリーブ情報を CSV 形式で出力

(1 行目) 座標原点、階高情報

(2 行目以降) スリーブ情報

```

0. 000000, 0. 000000, 0. 000000, 1F, 0. 000000, 2F, 3800. 000000
Sleeve, 1, 1F, 2215. 000000, 100. 000000, 3500. 000000, 2215. 000000, -100. 000000, 3500. 000000, C, 200,
Sleeve, 2, 2F, 2215. 000000, 5100. 000000, 7700. 000000, 2215. 000000, 4900. 000000, 7700. 000000, R, 300, 250
  
```

(1) 1 行目：座標原点、階高情報

<出力例>

0.000000, 0.000000, 0.000000, 1F, 0.000000, 2F, 3800.000000

① ②

<出力内容>

No.	出力情報	説 明
①	座標原点	出力時に指定した原点座標(X 座標, Y 座標, Z 座標)
②	階高情報	図面の階高情報(階高情報は[シート機能]-[シート基準高さ]にて設定) <出力例>は 1F の FL 高さ=0、2F の FL 高さ=3800 の場合

(2) 2 行目以降：スリーブ情報

<出力例>

Sleeve, 1, 1F, 2215.000000, 100.000000, 3500.000000, 2215.000000, -100.000000, 3500.000000, C, 200,

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

<出力内容>

No.	出力情報	説 明
①	スリーブ記号	スリーブを表わす記号。「Sleeve」と固定文字列を出力。
②	ID	スリーブの ID。1～の連番を出力。
③	所属フロア	スリーブの所属フロアを階名で出力。 Tfas で階名とシート基準高さが設定されていない場合は省略。
④	スリーブ中心軸 始点座標	スリーブの中心軸の始点座標(X 座標, Y 座標, 高さ)
⑤	スリーブ中心軸 終点座標	スリーブの中心軸の終点座標(X 座標, Y 座標, 高さ)
⑥	スリーブ種別	スリーブの種別を出力。 スリーブ形状(※2)が「丸」の場合は「C」、「角」の場合は「R」を出力。
⑦	スリーブサイズ	スリーブのサイズを出力。単位は「mm」。 「実管スリーブ(配管用ツバなし／配管用ツバあり)」の場合は「呼び径」、それ以外のスリーブ形状(※2)は、「丸」の場合は「直径」、「角」の場合は「幅」を整数で出力。
⑧	スリーブ高さ	スリーブ形状が「丸」の場合は省略、「角」の場合は「高さ」を整数で出力。単位は「mm」。

(※2) Tfas のスリーブ形状は、下記の種類があります。

【電気設備】 (丸)丸スリーブ／(角)スリーブ箱、鋼製スリーブ

【空調・衛生設備】 (丸)丸-紙、丸-鉄、丸-実管(ダクト用／配管用ツバなし／配管用ツバあり)、丸-梁貫通／
(角)箱-木、箱-鉄、角-実管(内フランジ)